２０１２年本試　　腎尿路系Ⅱ

|  |
| --- |
| 1. 腎細胞癌について正しいものを選べ 1.男:女は1:3 2腎細胞癌は静脈腫瘍塞栓をきたしやすい 3.血行転移よりリンパ節転移が多い 4.初期の血尿で発見されることが多い 5.尿路上皮由来の悪性腫瘍である |
| 1. 10歳男児。早朝に、左鼠径部痛で覚醒し、下腹部痛を主訴に来院。 左精巣は種大し、陰嚢上部(頭側)に位置し、自発痛と圧痛がともに強く、超音波ドップラー検査では精巣内に血流が確認できなかった。 治療として適切なのは？ 1)緊急手術 2)精巣の牽引 3)左精巣の冷却 4)抗菌薬の投与 5)抗凝固剤 |
| 1. ＜岩村＞.経尿道的前立腺切除術(TURP)で使う灌流液はどれか？ 1.滅菌蒸留水 2.高張電解質液 3.等張電解質液 4.高張非電解質液 5.等張非電解質液 |
| 1. 発熱をきたさない感染症は？ 急性単純性膀胱炎 急性精巣上体炎 急性腎盂腎炎 急性前立腺炎 腎周囲膿瘍 |
| 1. 前立腺癌の確定診断で最も有用なものはどれか？ 1前立腺生検ー 2骨シンチグラフィー 3CT 4MRI 5PET |
| 1. ＜佐藤先生 ＞限局性前立腺癌の根治療法で正しいのはどれか、２つ選べ。  a手術療法 b免疫療法 c 内分泌療法 d放射線療法 e抗がん化学療法 |
| 1. ＜田畑先生＞ 精巣腫瘍で最も高頻度な組織型は？ 1 胎児生癌 2 奇形種 3 セミノーマ 4 卵黄嚢腫 5 悪性リンパ腫 |
| 1. ＜藤田＞Eswlの禁忌はどれか。 1小児 2不整脈 3出血傾向 4無機能腎 5腹部大動脈瘤 |
| 1. 造影された写真。 1腎盂癌 2腎細胞癌 3腎嚢胞 4腎膿瘍 5腎動静脈奇形  ((すみません、後で修正します。)) |
| 1. 溶連菌感染後糸球体腎炎  ①血清IgA上昇 ②高補体 ③ステロイド著効 ④予後不良 ⑤感染後7～10日に肉眼的血尿 |
| 1. 膜性増殖性糸球体腎炎について正しいものを2つ選べ a.ASO高値となる b.尿蛋白の選択性は良好 c.C型肝炎に合併することもある d.持続する低補体血症 e.補体価と腎機能の予後は相関する |
| 1. 58歳の男性。 両下肢の浮腫を主訴に来院。2年前から蛋白尿を指摘されている。1ヶ月前から両下肢の浮腫が出現。 来院時血圧150/90 蛋白4＋、糖(ー)、潜血1＋ 血清総蛋白5.3g/dL、血清クレアチニン0.9mg/dL  以下にPAM染色標本、蛍光抗体IgG染色標本を示す。 この疾患はどれか選べ。  ①PAM染色標本→点刻像 ②蛍光抗体IgG染色標本→granular pattern (佐野先生のテキストと同じ写真だった)  1. IgA腎症 2. 膜性腎症　 3. 巣状糸球体硬化症 4. 慢性増殖性糸球体腎炎 5. 微小変化型ネフローゼ症候群 |
| 1. ６０代男性 １０年前からな喘息 ６ヶ月前から微熱 ３週間ぐらい前から３８度の熱。近医で抗菌薬 解熱剤を処方されたが改善せず。疲労感があり、関節が痛い。好酸球上昇、MPO-ANCA著増  １結節性多発動脈炎 ２顕微鏡的多発動脈炎 ３ウェゲナー肉芽腫 ４グッドパスチャー ５チャーグ・ストラウス  組織写真あり |
| 1. 抗基底膜抗体をもつのはどれか(鎌田先生)  a シェーグレン症候群 b 溶血性尿毒症症候群 c ウェーゲナー症候群 d グッドパスチャー症候群 e チャーグ・ストラウス症候群 |
| 1. 症例:53才女性。45才ころから冬に屋外に出ると手指が蒼白になる。48才ころから両手の指が腫脹し動かしにくくなった。50才ころから指の皮膚が硬くなった。1年前から血圧が高くなったが、腎機能は正常と言われていた。1週間前から頭痛が続き、視力が低下してきた。さらに息苦しさが加わり来院した。血圧240/130mmHg、血清アルブミン4.0g/dL、血清クレアチニン4.8mg/dL。腎組織所見と眼底所見を示す。疾患はどれか。  1 強皮症腎 2 ループス腎炎 3 結節性多発動脈炎 4 シェーグレン症候群 5 ウエーゲナー肉芽種症 |
| 1. ＜鎌田先生＞ この画像の赤血球がきたす病気はなにか？(テキストp.54の破砕赤血球) 1 溶血性尿毒症症候群ー 2 抗リン脂質抗体症候群 3 コレステロール塞栓 4 Churg-Strauss症候群 5 クリオグロブリン血症性糸球体腎炎 |
| 1. ＜鎌田先生＞purple toe あるいは blue toeが見られるのはどれか。二つ選べ。  1 紫斑病性腎炎 2 溶血性尿毒症症候群 3 抗リン脂質抗体症候群 4 コレステロール塞栓症 5 グッドパスチャー症候群 |
| 1. 70歳、男性。 主訴はふらつき、両下腿浮腫。 半年前から5㎏の体重減少。 身長170cm、体重55㎏。脈拍40/分整。 血圧：臥位110/74mmHg　立位82/40mmHg 眼瞼結膜に軽度の貧血あり。心雑音なし。腹部に肝を2cm触知。 尿：蛋白(3+)糖(-)潜血(-)、蛋白定量4g/日 血液所見：Hb9.7g/dl、Ht28％、白血球3800 血清化学所見：総蛋白5.0 g/dl、アルブミン2.5 g/dl、HbA1c 4.9、尿素窒素8.0 mg/dl、Cr0.6 mg/dl、CRP(-) 胸部X線所見は心胸郭比45％、肺うっ血なし。 心電図は低電位。 腎生検congo red染色の写真を示す。正しいものを選べ。  a,予後は良好である。 b,血糖管理が予後に関係する。 c,β2ミクログロブリンが原因蛋白である。 d,多発性骨髄腫に合併する。 e,腎生検PAM染色でスパイク形成がみられる。 |
| 1. ＜守屋先生＞ 糖尿病性腎尿の診断に必要のはどれか。 1.顕微鏡的血尿が存在している。 2.高血圧が存在している。 3.血清クレアチニンが上昇している。 4.糖尿病を3年以上罹患している。 5.尿中アルブミン排泄が増加している。ー |
| 1. ＜守屋先生＞ 50歳女性。10年ほど前から頭痛があり市販の解熱鎮痛剤を週に2～3回服用していた。5年ぶりに人間ドックを受けたところ腎機能異常が見つかったので受診。 身長、体重、血圧などの所見 尿所見:糖(-)、蛋白(-)、潜血(-) 沈査:白血球20/HPF、赤血球1～4/HPF、白血球円柱 血液所見:いろいろ   Q、まず検査で行うものは？  a.胸部X線 b.腹部超音波 c.腎血管造影 d.レノシンチグラフィー e.腹部CT |
| 21 CKDについて正しいものを二つ選べ。   170ml、２ヶ月  2微量アルブミンは心血管障害のリスク因子になりうる  3IgA腎症は最大の原疾患  4ckdは慢性腎不全の原因になる  5糖尿病性腎症はckdにならない。 |
| 22慢性腎不全で血中上昇がみとめられるのはどれか クレアチニン クレアチニンキナーゼ カリウム HCO3- エリスロポエチン |
| 23<長場先生>  保存期慢性腎不全の治療法について。2つ選べ。    1.自宅安静・運動禁止  2.500mL/日以下の飲水制限  3.ACEIの投与  4.高尿酸血症治療薬の投与  5.NSAIDsの投与 |
| 24<吉田>   透析療法の導入について正しいものを選べ。  1、原因疾患としては糖尿病性腎症より腎硬化症の方が多い。  2、導入当初は腹膜透析より血液透析の方が少ない。  3、原因疾患としては慢性糸球体腎炎が増加している。  4、導入5年後の死亡率は50%をこえる。  5、導入時の平均年齢は上昇している。 |
| 25腎移植について正しいものを選べ。 1ドナー腎は腸骨棘に移植する。 2ドナーはレシピエントより五年生存率が低い。 3慢性期にはT細胞が関わっている。 4免疫抑制薬は三年で中止する。 5促進型拒絶反応とは徐々に進行していく反応をいう。 |